

## 東京音楽大学大学院修士課程 入学試験

### 共通科目試験 小論文 独唱・オペラ研究領域

#### 出題意図

声楽という分野では、音楽家、演奏家であると同時に、視覚的な表現が大きな意味と比重を持つ。

オペラ領域では、演劇的所作が重要な表現となることは自明であるが、歌曲、宗教曲など、独唱、コンサート領域でも、視覚的な身体表現が大きなウェイトを占めることは広く理解されるだろう。

また、殆どの場合で歌詞を伴うために絶対音楽とは距離を置き、器楽では存在しない言語表現が音楽表現と適切に結びつくことが優れた演奏の必須条件となる。発音という音としての言語表現とは別に、内容的なアプローチのためには文学、演劇の分野での知見を必要とする。

言語、発音、所作など、絶対音楽には含まれない要素が、音楽演奏に対し、相対化、関連付け、理論化されているかを判断するための出題である。